

## 別記様式（第5条関係）

## 会議録

会議の名称	第2回新設小学校開校準備委員会			
開催日時	令和7年8月25日（月）午後7時00分から 午後8時40分まで			
開催場所	福津市役所別館1階大ホール			
委員名	出席委員 横谷 将仁 佐々木 美奈 仲村 浩一 奥之瀬 斎美 中野 隆 塚本 義孝 細田 浩司 安河内 友美 西田 剛信 梅野 邦彦 土器 修 欠席委員 なし			
所管課職員職氏名	教育部長 宮原 栄介 理事兼主幹指導主事 原尻 敏広 新設小学校準備室長 志賀 孝俊 新設小学校準備室新設小学校準備係長 鈴木 健夫 新設小学校準備室新設小学校準備係長 有吉 弘貴			
会議題 (内容)	1. 委員長あいさつ 2. 協議事項 (1) 校名案について (2) 校章について 3. 報告事項 通学路について 4. 次回開催日程について			
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開			
非公開の理由				
傍聴者の数	なし			
資料の名称	• 会議次第 • 資料① 校名案について • 資料② 校章について • 資料③ 通学路について			
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法：委員長確認			
その他の必要事項				

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 委員長あいさつ  
(西田委員長が開会のあいさつを行った。)

2. (1) 校名案について

【意見交換】

西田委員長 前回の検討内容を踏まえ、各組織から意見集約の結果を報告してほしい。

委員 ●●役員本部に伺った。地区の名前で、漢字とする方がよいという意見であった。

委員 ●●会長に意見を伺った。「宮司」と「みやじ」であれば、どちらでもよい。以前あった西鉄宮地岳駅にちなんで、「宮地岳」小学校はいかがか、との意見であった。西鉄宮地岳駅は無くなつたが、地元の住民は愛着があると思う。

委員 ●●の組長会で27名に伺った。「宮司」が16名、「宮地」が0名、「みやじ」が11名であった。割合は「宮司」が59%、「みやじ」が41%。参加者の1/3は女性で、ひらがながよいという意見が多かつた。小学校の所在地が宮司であるため、「宮地」は全員が反対していた。

委員 区長、副区長、●●の運営委員など20名ほど集まつたサポート会議で意見を伺つた。区別のしやすさ、説明のしやすさから、「宮司」がよいとの意見もあったが、女性の目線で、「宮司」は小学生が書くには抵抗があるので、との意見もあり、最終的に●●の総意として、「みやじ」がよいとなつた。

委員 ●●の自治会役員会で、約10名に伺つた。既存の小中学校に合わせて「宮司」がよいとの意見であった。また、役員会以外で住民の方に伺つたところ、司という字が、スマートで頭が良さそうとの意見もあつた。

委員 ●●に伺つたところ、「宮司」がよいとの意見が多かつた。

委員 ●●は、どちらもよいとの意見であった。「宮司」であれば、所在地を明確化できる。「みやじ」であれば、新しい感じがし、宮司と宮地を包含できる、など双方の意見があつた。

委員 宮司の名前にすることは、地元として理解を示していた。西福間5区の方への配慮についても、了承済みの旨、説明をした。「宮司」とすると、「ぐうじ」と読み間違いが起つて、わかりにくいため、「みやじ」がよいのではないか、との意見があつた。また、小学生の意見も参考にしてはどうか、との意見もあつた。

西田委員長 「ぐうじ」と読みまれることは、よくあることか。

委員 「みやじ」とは、読みづらいかもしない。

委員 住所を説明する際に、「みやじ」と伝えて理解してもらえないことが多い。「宮司」小学校となれば、読み方が浸透するのかもしれない。

委員 JR福間駅は、みやじ口と表記されている。

委員 ●●は、女性の意見として多いのは、子どものことを考えて「みやじ」がよいとのことであった。

委員 所在地の表記と既存校との整合性を考えると「宮司」が妥当である。

	「宮司」の読み間違いのこともあるが、北九州の門司や小倉の読み方、書き方も、間違えられることはよくあり、他地域の人が地名を正確に読み書きすることは、そもそも難しいものである。一方、●●の意見は、子どものことを考えて「みやじ」がよいとのことである。多数決で決めるとなると、どのような割合になるかわからない。
委員	宮地嶽神社の読み方は、「みやじ」と「みやぢ」のどちらであるか。
委員	「みやじ」である。
委員	そうであれば、前回の会議で西福間5区と郷づくりに関することも出たが、今後の地域の広がりのことを考えると「みやじ」小学校もよいかと考える。
委員	旧宮司村から合併を繰り返し、現在の福津市になった背景から、「宮司」という名前は定着している。●●での会議で、子どもに選んでもらうという意見も出たが、最終的には大人が決めるべきであると思う。
委員	「宮司」と「みやじ」の二択になるかと思う。
委員	「宮地岳」小学校という案が新たに出たが、その案に対してどう思うか。
委員	漢字の表記であるか。
委員	漢字の表記である。
委員	漢字が難しいのではないか。
委員	常用漢字ではある。
委員	常用漢字であっても、難しいのではないか。
委員	それでは、小学生に意見を聞くか否かは別の議論として、「宮司」と「みやじ」の二択まで絞られたということで、異論はないか。
委員	●●の中で、「宮司」「宮地」「みやじ」の3択から意見を伺ったが、間違いなく「宮司」と「みやじ」の2択になる。
委員	仮に小学生にアンケートを取ることになった場合、対象となる現在の1年生から4年生までの子ども達に対して実施することは可能か。
委員	児童全員ではないため、手間はかかるが、例えば給食時間にタブレットに入力をお願いするなどの対応になるかと思う。
委員	アンケートを取るにあたって、案の選定理由や意味などを、子ども達に説明する必要があると思う。
委員	対象児童の見込みは、何人であったか。
事務局	700～800人程度ではないか。福間小学校は、西福間5区だけなので、アンケートが取りやすいと思ったが、宮司から通っている児童もいる。学校内でアンケートを取る際に、対象となる児童だけに行うと、不公平感は出るのか。
委員	対象の児童だけをピックアップすることは、不可能ではないかと思うが、対象外の児童が同席する場では、説明が難しいと思われる。また、スクールメールの活用も手法としてあるかと思うが、一斉送信であるため、対象の児童のみとの明記をしていても、対象外の方が回答することも考えられるため、一定程度の傾向を見ることになる。
委員	児童へのアンケートについて、アイデアを否定するつもりはないが、労力をかけて得る効果を考えた際に、適切な方法ではないように思う。校名案の決定にあたっては、大人の責任で、経緯など、適切に説明ができる根拠を持つべきであると思う。
委員	児童にアンケートを取るという意見があることは、よいことだと思う。ただし、児童の多数決をもって決定することは、本当に正当なものなの

委員	か疑問に感じる。最終的には責任ある大人が決める必要があると思う。PTA 代表の委員の方々に伺う。児童にアンケートを取ることも含め、どのように思っているか。
委員	実際に自分の子どもに聞いてみたが、どちらでもよいと言っていた。
委員	1年生の子どもがいるが、本人は意味がわからないと思う。もし、アンケートを取るのであれば、説明が理解できるある程度の年齢の児童に聞く方がよいと思う。
委員	小学校高学年児童など、漢字の意味が理解できる年齢の児童に行う方がよいと思った。
委員	子どもに聞いても、恐らくどちらでもよいと言われると思う。子どもは寛容で柔軟であると思う。前回の会議でも、地域と子どもがテーマになっていた。大人が根拠付けをする必要があると思うが、大人もある程度柔軟に寄り添っていくことが、大きなテーマの一つであると思う。新設小学校に通う子ども達がどのようにになってほしいかが、大人が用意する根拠になり得ると思う。現状出た意見で言えば、アンケートを取る場合は、高学年限定で行うことになると思う。
委員	●●で意見を出した方は、女性や福祉関係、子ども会関係など、普段から子どもと接している方々で、子どもの立場に立った意見であったのだと思う。子どもが決めるということよりも、子どものためにどのようにしてあげたいか、その思いを校名にするということでよいのではないかと思う。
西田委員長	子どもに聞いた場合に、自分が選んだもの以外の校名になったときの子どもの気持ちを考えると、本委員会で、しっかりと理由を考えて案を決定し、子どもに説明ができるようにする方がよいと思うが、いかがか。子どもが漢字を書けるか否か、ということの意見は大事だと思うが、既存の小学校は、神興小学校や神興東小学校などすべて漢字である。仮に、9割の子どもが「みやじ」がよいということであれば、子どもの意見を基に考えるべきだと思うが、2案が拮抗しており、どちらでもよいという子どもの意見があるのであれば、責任ある委員達で決めざるを得ない。ただし、子どもへのアンケートについての意見も出ているとおり、大人が勝手に決めるよりも、小学校高学年児童に参考までに聞くことはよいかもしれない。「みやじ」がよいとの意見の多くは、学校に関係している方々から出ており、逆にあまり学校に関係していない方々の意見を聞かずに決めてよいのか、という議論もある。
委員	●●内での意見も同様だが、大人目線での意見は「宮司」で、子どもの目線で考えた意見は「みやじ」である。校名については、どちらに決まってもよいと思う。大事なのは、今後、校章や校歌の作成、議会への報告、市民への周知、その際に、説明するための理論がしっかりとしていることである。
委員	ひらがなにする根拠としては、小学生の書きやすさという点もあるが、今後の地域の広がりを考えたときに、「宮司」も「宮地」も包含でき、柔軟に受け入れられるところにあると思っている。
委員	根拠として、児童の意見が多数であったから、ということもできるのかもしれないが、大人の意見は何もないのか、と思われることになると思う。関係の小学校の方々だけで決めてよいのか、ということも考える必要がある。
委員	関係する児童にだけアンケートを取ることは大変なことかもしれない。

委員	本委員会で選考された最終候補案は、教育委員会や議会への報告の過程で、変わるべき可能性はあるのか。
事務局	基本的には、変わらないと思われる。
委員	変わることがないのであれば、なお重たい選考である。校章などにも影響するものである。
西田委員長	繰り返しの確認となるが、「宮司」と「みやじ」の二択ということで異論はないか。 (異論なし)
委員	選考理由について、子ども達に説明できるようにしたい。
西田委員長	現段階で、各委員本人の意向を伺ってはいかがか。 その結果をもって決定とはしないため、どちらがよいか拳銃をお願いしたい。 (結果は「宮司」7名、「みやじ」4名)
委員	双方よい部分があるため、難しい決定となるが、子どもにも伝わるような理由としたい。
事務局	どんな学校にしたいのか、コンセプトなどを伺いたい。 子ども達が行きたくなる学校、をテーマに多くの方に携わっていただき、ワークショップなどを行ってきた。そのテーマを基に、学校のデザインや施設などを決めていった。
委員	今の説明は、子ども達が行きたくなる学校にするために、どのような施設にするかを考える、基本設計のワークショップのことで、学校の校訓や使命のようなものでなく、それについては、今後、考えていくという認識でよいか。
事務局	そのとおりである。
委員	本委員会から教育委員会へ最終候補案を提出し、正式決定前に市民に公開し、意見を聞くことはあるのか。
事務局	市民に意見を求めるることは考えていない。
委員	前回の会議で協議したが、意見募集を市全域に広げると、まとまらないため、対象の地域で決めていくことになったと思う。校章や校歌の作成も含め、予算のことや法的な問題などがなければ、本委員会で決めていくことであると思う。
委員	そうであれば、やはりこの場で最終候補案を決定するしかない。
委員	仮に「宮司」小学校となった場合でも、小学校低学年はひらがなで書くことになるため、漢字とひらがなのどちらにするか悩ましいのかと思っている。
委員	漢字にするか、ひらがなにするかの判断であると思うが、合理的な理由を見つけることは難しいと思う。
委員	子どもが書きやすいという理由で「みやじ」を選択するのであれば、そもそも低学年はひらがなで校名を書くので、「宮司」でもよいよう思う。既存の小学校は、神興東小学校など、難しい漢字を使っているものもあり、子ども達は練習してだんだん書けるようになっていっていると思う。
委員	仮に「宮司」小学校に決まても、低学年の子どもが、ひらがなで書いても構わないことであると思う。
委員	祖父母の代からずっと宮司に住んでおり、宮司で生まれ育った。宮地嶽神社は、自分にとってのアイデンティティであり、住居表示の「宮司」と宮地嶽神社の「宮地」を内包する、ひらがなの方が、受け止め方や器

委員	が広いように感じ、「みやじ」がよいと思っている。
委員	福津市出身ではないが、同意見である。全体を取り巻くもの、という視点で考えると「みやじ」、場所を示す、ということで考えると「宮司」である。
委員	家族内でも意見が分かれた。どちらの案もよいと思うが、どこかで妥協しなければ決まらないと思う。
委員	当初、●●の意見は「みやじ」と言っていたが、「宮司」に変える。いつかはどちらかに決める必要があり、決める時期が来たのではないかと思った。
委員 事務局	決定の期限はいつまでであったか。
委員	できる限り早く校名が決まった方が、その後の決め事がスムーズにいく。前回の会議で、スケジュール案として、10月中を目途に決定することを示している。
事務局	新しく作っていく過程の中で、校歌の作成において、パブコメで地域の意見を募って進めるなどの事例はあると思うが、それ以外で参加型のものなどを企画する予定はあるのか。
委員	他市町では、町民全体にアンケートを取って、集約したり、子ども達に言葉を選んでもらって、先生方でまとめたりと、多種多様な手法で、決まりごとがない中で新しいものを作っている。事務局としても、何が正解か、決めかねるところがある。子ども達に参画してもらい、決めることも手段としてよいと思う。一方で、大人が決めていくべきという意見も尊重したいと思っている。
事務局	新しいことを試みるときに、大人が大変だ、ということで議論が進むことは違うと思う。ただし、時間が有限の中で、前例のとおりに行なうことが簡単な部分もある。時間も予算も限りがある中で、福津市としてどの程度の規模観で取り組んでいくことがよいのか。一大イベントにした方がよいものか。一方で、地域限定で考えていくことであるという意見もある。
委員	新宮北小学校の事例をあげると、校名案については、全町民にアンケートを取った。その結果、「新宮北」小学校との意見がほとんどであった。「しんぐうきた」小学校の意見はなかった。
西田委員長 委員	現時点では、漢字の「宮司」が多数であるので、公開する上で、納得できる根拠を詰めていくことに移行していった方がよいと思うが、いかがか。
委員	移行してよいか。ひらがなの「みやじ」がよい、という意見はあるか。個人的には、どちらの結果になってもよいが、長いものに巻かれて、議論が失われることは避けたい。せっかく各組織で議論してもらい、女性の意見や子育て世代の意見も多く出ている。「宮司」小学校となった場合の一番の根拠は、建てる場所であると思う。最終的に根拠をもって決めるにあたって、どこまで広げて最終確認を行うか。現時点では、それぞれの組織で協議して100名程度が決定に関わっている。
委員	対象地区全域に広げることは、好ましくないのではないか。本委員会として、教育委員会に提案する権限を有しているため、本委員会で最終候補案を決定してよいのではないか。
委員	範囲を広げて調査をするのであれば、闇雲に行なうのではなく、調査結果をどのように活かすか、を考える必要がある。
委員	学校の所在地と既存校の校名が漢字である。この二つが大きな理由でよ

委員	いのではないか。
西田委員長	本委員会内や各組織内でも、2案が拮抗しており、範囲を広げて調査をしても、恐らく同様の傾向となり、なお決定しづらくなると思う。漢字の「宮司」で議論が進んでいるが、ひらがなの「みやじ」について、意見のある方はいないか。
委員	まだ学校のコンセプトが決まっていないのであれば、「宮司」か「みやじ」を決めることは難しいと思う。一般的な校名とした方が、無難ではないか。
委員	理由付けや納得感があれば、2案のどちらに決まってもよいと思う。校名にそこまでこだわることが、学校作りにどこまで価値があるのか。子どもや地域にとって、どんな学校がよいか、どんな学校だったら行きたいか、どんな学校だったら通わせたいか、などの意見に耳を傾け、学校のコンセプトなどを考えていくことにエネルギーを注いだ方がよいと思った。委員が発言された人間としてのアイデンティティのことや、子どものことを思って校名はひらがながよいとの意見など、子どもを取り巻く優しさや、地域住民の思いや願いに耳を傾けることに、エネルギーを注いだ方が、学校作りに繋がると思う。そのことを踏まえると、校名はスタンダードなものでよいと思う。
委員 西田委員長	同意である。中身のこと、運営のことをしっかり考えていただきたい。それでは、校名最終候補案については、「宮司」小学校でよいか。（異議なし）これからコンセプトを考えていく中で、どのような学校にするか、思いなどを汲んでいくこととする。校名最終候補案は、宮司小学校に決定する。

## 2. (2) 校章について (事務局が説明を行った。)

### 【意見交換】

西田委員長	校章には、思いが込められていると思う。神興東小学校は、葉がデザインされており、平和を意味していたと記憶している。
事務局	既存校の校章のルーツを調べた。ほとんど確認できなかつたが、福間小学校と福間南小学校は、旧福間町の町章で、「フ」が9つあるデザインがベースとなっている。津屋崎小学校は海の波をイメージしたものかもしれないが、探しきれなかつた。
西田委員長	神興東小学校は、記録を見た記憶がある。
事務局	神興小学校は、桜の花がベースとなっているように思う。
西田委員長	予算は確保されているのか。仮にデザイナーに頼んだ場合、相応の金額となると思う。
事務局	確保できるように準備は進めている。
委員	思いなどを伝えれば、ChatGPTで作成できると思う。
委員	いずれにしても、ベースやモチーフ、色合いなど要件を決める必要があると思う。
委員	同意である。根拠となる条件定義、要件定義を決定し、プロに依頼し、何度か修正をかけながら進める流れになると思う。市において、どの程度の予算を予定しているのか。
事務局	校歌と校章の制作費として、合わせて●●万円を想定している。ただし、現時点では、財政部局に頭出しをしている状態で、予算が確定しているものではない。当委員会で、制作方法について決定し、必要な予算

	額が確定したら、改めて財政部局に予算要求をし、議会の議決を得て、正式に予算化されるものである。
西田委員長	予算が確保できないと、デザイナーなどに依頼ができないのではないか。
事務局	そのとおりであるが、必要な予算であると事務局は考えており、財政部局とは、そのように協議している。
委員	西田委員長は、校長先生であるため、学校のことは詳しいと思う。宮司のことを調べて、要件などをあげてもらうと早いのではないか。
委員	本委員会においては、道筋を決めるところが主であると思う。以前、●●で、LGBTQ の関係で、制服を見直すことがあった。制服も、校章などと同様に、学校のシンボルのようなものである。委員の発言にあつた、子どもの参画について、当時も中学1年生、小学5年生、6年生に意見を聞いた。初期段階で、子どもの意見を聞いて、徐々に大人の手を入れていった。逆に先程の校名のように、大人が2択まで固めて、子どもに選ばせるのは、きつい状態になってしまうため、子どもの意見を聞くのであれば、イメージやアイデアを集めるなど、初期段階がよい。
委員	初期段階で子どもの意見を聞くことについて、同意である。生成AIなどを使い、条件定義を入力すれば、ある程度アイデアが出てくる。子どもに意見を出してもらい、大人が生成AIなどを使い、条件定義を行い、何度も協議を重ね、ある程度のものができてくれれば、プロポーザルなどで業者を選定する、という流れで進めるといよいのではないか。本委員会だけで、決めていくことは難しいと思う。校章や校歌については、イメージが大事であると思うため、子どもの意見を聞くなど、時間をかけて力を入れて考えていった方がよいと思う。
西田委員長	イメージやアイデアを集める方法を考えていく必要がある。本日の委員会での協議は、ここまでとし、次回、改めて協議を進めていくということでおよいか。
事務局	構わない。各組織に持ち帰り、次回、アイデアを持ち寄るということでお願いしたい。

### 3. 通学路について (事務局が説明を行った。)

	【質疑応答】
西田委員長	事務局の説明に対して、意見、質問などはあるか。
委員	ワークショップで出た意見をスタートとして、考えていくってほしい。実際に、学校周辺を歩いてみたが、危険だ。交通量調査についても、自動車の交通量だけでなく、歩行者の通行量の調査も必要である。シミュレーションをしながら、議論を行い、バックデータも取りながら、併用して対策を考えていってほしい。
委員	通学路については、警察との調整も必要である。まずは、市でモデルを作って示してほしい。学校南側の人道橋については、昔は、丸太をかけて渡っていたが、転落事故があり、地元要望の結果、町有地に町道認定をかけ、人道橋をかけた経緯がある。今の状態で、十分だと思っていない。車が通れるようにすべきとの意見もあれば、反対の意見もある。橋を扱う際は、福岡県土整備事務所と協議をしなければならない。学校の南側は狭いので、西福間5区の500人の児童に、どのように通学してもらうか、考えなければならない。

事務局	西福間5区の500人の子ども達を、どのように誘導していくかが、一つのテーマである。正門に向かって北上する場合、市道今川・竿線の高架を下りきった所に、横断歩道を設置する必要があるが、これまでの警察との協議で、視距離の問題、スピードが出やすいために追突の危険性などから、設置ができない旨の見解を示されている。
委員	市道今川・竿線に歩道橋を設置するか、人道橋を3、4人横一列で渡れる程度に拡幅するか、の二択しかないと思う。
委員	同意である。人道橋の拡幅と、転落防止柵の設置（延伸）を行う必要がある。裏門は、保護者の送り迎えで車が来ることはないため、狭くても構わないと思うが、通学路の確保は一番大事なことである。警察と協議をしながら、どのように通学路を設置するのかを提案してもらわないと、論議のしようがない。
委員	先日の大雨で浸水したり、増水したりした。夏季休業中だったことが救いであったが、今後も同様な大雨の可能性もあるため、非常に不安に思う。昔、津屋崎小学校で水難事故があった。子どもは注意しても水に入る。先ほどの発言のように、橋の拡幅や川に降りられないような環境を整えること、通学路で命を守るような提案をしてほしい。
事務局	通学路のたたき台は提示したい。委員も一緒に現地を歩き、危険箇所などの意見をいただきたい。
委員	正門と北門については、問題ないと思っているが、そこまで行くためにどうするか。通学路を整備しなければ、今の状態で通うことは難しい。
委員	通学路のモデルを出してほしいとの意見が出ているが、事務局から提示することは可能か。
事務局	提示する必要があると思っている。
委員	事務局が提示する通学路のモデルを基に、本委員会で危険箇所を指摘したり、現地を一緒に歩いて考えたりするという方向性でよいか。
委員	机上で議論するよりも、日程調整の上、委員全員で、現地を確認した方がよい。
委員	現地視察を行うことについて、異論はないか。
委員	交通安全の観点と、防災の観点の、二つの観点から検討してほしい。市にて、通学路の安全推進会議を行っている。福間小学校の通学路について、毎年、変更の要望が出ている。既存校であってもそのような状況である。今回、新規で通学路を設定するので、現地調査を行い、十分に検討した上で、設定していただきたい。
委員	西福間5区から通学する児童の通学路について、正門を利用するのか、南門を利用するのかの選択もあると思うが、十分検討し、確保する必要がある。
委員	以前開催された保護者説明会の市の答弁で、通学路の整備に終わりはない、との説明があり、そのことについて理解はできる。ただし、新設小学校の建設について、議論が続けられ、それなりに猶予があった中で、準備ができておらず、何か起きた場合に問題になると思う。整備費用の予算のことも含め、優先順位をつける必要があり、すべて行うことはできないかもしねないが、本委員会も含め、十分検討してきたプロセスを見せられるようにすることが必要である。しかしながら、命に関わることでもあるため、予算確保のために、いつまでに現地調査を行い、意見をあげる必要があるのか、目標を定め、進めた方がよいと思う。来年度予算がつかなかつたため、再来年度、学校運営を行いながら、整備を進

委員	めるとなると納得されないと思う。急ぎ市からモデルを提示し、次回の委員会で協議をし、現地調査をすぐに行った方がよいと思う。
委員	新設小学校の建設については、令和4年の議会で、土地の低さと通学路の確保の問題から反対の意見が出ている。通学路をどのように確保するのか、この問題から賛成できないという意見が非常に強かった。しかしながら、建設することが決定したため、供用開始までに通学路を整備することは、大きな課題であると思う。委員も実際に現地を視察して、市に要望をしていく必要がある。現状で開校すれば、大変なことになる。
委員	日程が合えば、各委員の子どもも一緒に参加して、現地を歩けるかもしれない。いつまでに現地確認を実施すればよいか。
事務局	建設課にて来年度予定している事業を確認し、提示したい。
委員	至急お願いしたい。ワークショップ実施後、時間が経過していたにも関わらず、何も行っていないとなると、必ず問われる。費用も含め、優先順位を付けざるを得ない。
委員	正門や南門など複数ヶ所から学校に入るとしても、500人の児童が、一斉に滞留することは、危険である。コンサルを入れた方がよい。直感で見てもわからない。
委員	現在、宮司から福間小学校に通う児童のために、民生委員の方など、見守りをされている。新設小学校の通学路についても、安全パトロールは必要である。コンサルについても、予算を確保し、実施する必要があると思う。
委員	コンサルは必ず入れるべきである。通学路の設定について、責任が問われる。
委員	市道今川・竿線の高架下は元々西鉄電車の線路があったが、廃線になった。今は、高架は必要ないが、撤去するには、20億円必要である。
委員	高架になっていることで、車が少なく、子どもが通りやすくなっているように感じる。
委員	500名のうち、半分は正門から、もう半分は南門から登校するという考え方もある。
委員	先日のような大雨が降った場合、登校する前と登校した後、それぞれどのような判断をするのか。
事務局	登校する前であれば休校、登校した後であれば、児童を学校から出さず、状況が落ち着いて、保護者に迎えにきていただくことになる。
委員	休校などの判断は誰がするのか。市か学校長か。
事務局	地域によっても状況が異なるため、市と学校長が協議の上、決定する。
西田委員長	災害対策本部が立ち上がるるので、その本部と学校が連携を取る。
委員	通学路の安全性については、防災は関係なく、通学路だけの問題を検討するということよいか。
事務局	そのとおりである。
西田委員長	今回出た意見を踏まえて、事務局にて対応を検討していただきたいと思う。

#### 4. 次回開催日程について

第3回委員会は、9月29日19時から市役所で開催予定。